



通 関

平成30年度採用（一般職行政）

六甲アイランド出張所 統括審査官付（通関第3部門担当）

税関を志望したきっかけ

専門性を身につけることが出来る国家公務員の中でも、幅広い業務を経験できる税関に魅力を感じました。また近年、外国人観光客や輸出入申告件数が増加している中で、税関は成長している行政分野のひとつであることを官庁訪問を通じて知り、今後もその役割は一層重要になると考え、税関を志望しました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

六甲アイランド出張所で衣類や金属製品の通関業務を担当しています。通関部門では、輸出入申告の書類審査をしたり、実際に貨物を見に行ったりすることで、「申告された税額が適正か」「輸出入してはいけないもの（不正薬物や偽ブランド品など）が含まれていないか」等を水際でチェックしています。



関係法令や条約が多岐に渡るため、大変な面もありますが、規定より低い税率で申告されていることを見抜き、適正な額の税金を納めていただいた時は、とてもやりがいを感じます。さらに、通関業務を通して、「世界のどこで、どのような製品が製造され日本に輸出されているのか」「商品の原価はどれくらいなのか」「TPP11や日EU EPAなど国際貿易の動向」等、様々なことを知ることが出来るのも魅力のひとつです。

また、職場は全体的に和気あいあいとした雰囲気で、分からないことがあれば、先輩方から丁寧に教えていただけます。このような風通しの良い環境なので、様々な意見を出し合いながら業務の効率化も進めることが出来、仕事後のプライベートな時間もとても充実しています。

受験生へのメッセージ

出来るだけ多くの官庁を回って、そこで働く職員の話を通じて直接聞いてみてください。業務内容だけでなく、職場の雰囲気や職員のカラーなど、実際に足を運んでみて初めて分かることもたくさんあります。私自身も、多くの官庁の官庁訪問に参加し、そこで話しかけやすそうな職員の方を探して、積極的に質問していました。

税関には明確な使命があるため、自分の仕事に誇りを持って働くことができると思います。税関の仕事に少しでも興味がある方は、ぜひ官庁訪問に参加してみてください。

